

# 保育士を目指す大学生の保育実践力を育てるコラボ授業

—幼児の造形表現・保育実践研究の連携による  
シアターフレーム教材の可能性を探る—

**The Collaboration Classes which Educated the Childcare Practice Power of  
the University Students who Aim at a Childcare Worker**

**- The possibility of the teaching material “THEATER FRAME” used by cooperation of  
Pre-Schoolchildren’s Art Class and Childcare Practice Research Class -**

柏 ま り  
藤 田 知 里

# 保育士を目指す大学生の保育実践力を育てるコラボ授業

## —幼児の造形表現・保育実践研究の連携による シアターフレーム教材の可能性を探る—

The Collaboration Classes which Educated the Childcare Practice Power of  
the University Students who Aim at a Childcare Worker

- The possibility of the teaching material “THEATER FRAME” used by cooperation of  
Pre-Schoolchildren’s Art Class and Childcare Practice Research Class -

柏 まり  
藤 田 知 里

### はじめに

保育士養成校では、資格取得のために開講されている各科目において、実習に必要とされる学生の実践的な保育実践力の育成に努めている。従来、大学では専門の異なる教員によって各科目の授業を担当することが通例であり、各領域分野科目と実習科目では内容が重複する部分が多いにも関わらず、つながりを持った学習として学生へ教授することはできていないことが多い。しかし、1つの課題を複数の授業にて扱うならば、その目的や内容を、各科目の専門性から多角的視座で捉えることが可能となり、相互作用の結果、各科目が別個に授業を行うよりも学生の実践力を高めることが可能となるのではないかと。筆者らは、それら科目間における連携の重要性に着目し、就実大学初等教育学科2年生の「幼児の造形表現Ⅰ」と「保育実習実践研究Ⅲ」で、共通する課題を設定しコラボ授業の企画・実施を決定した。

「幼児の造形表現Ⅰ」においては、造形技術や内容等を教えることはできても、それらの保育実践における生かし方、あるいは実習にて授業で学んだことが実際に役に立っているのかどうかを確認することができずにいた。また、15回という授業時間の制限もある。

「保育実習実践研究Ⅲ」においては、保育現場で活用できる教材を準備することの必要性を学生に伝えても、実際には教材の選定から製作及び教材を用いた活動内容に至るまでを学生に任せている状態である。また、授業担当者として保育所保育実習や実践現場に有用な教材について、「こんなものがあつたらいいな」といったイメージはあるものの、教材化するための専門的な知識に乏しく実現できていない。保育所実習の事前準備として共有化できる教材開発が進まないために、学生への実践指導の機会が十分に得られていない。

これまで、FDの取組等において教員間における連携の必要性が唱えられてはいたが、授業の枠組みを越えて実際にコラボ授業として、実施された例はあまり聞かない。本研究では、

「幼児の造形表現Ⅰ」と「保育実習実践研究Ⅲ」を通した学生の学びと保育所保育実習における実践の成果を中心として、保育士を目指す大学生の保育実践力育成のために企画されたコラボ授業の検証を行う。

## 1. コラボ授業「シアターフレームの制作とその実践」

### 1) コラボ授業の企画

コラボ授業実施のための事前準備として、2011年12月の初回から、計5回の打ち合わせを行った。授業の内容は、「シアターフレームの制作とその実践」とし、その目的は、保育所保育実習の準備の一環としてこのコラボ授業を位置づけ、「幼児の造形表現Ⅰ」から「保育実習実践研究Ⅲ」へとつながりを持たせた課題に取り組むことによって、保育士を目指す学生の実践力を育成することとした。

### 2) コラボ授業の内容

コラボ授業では、2012年8月夏季休業中に行われる保育所保育実習にて課題を活用することを視野に入れ、「シアターフレーム」を教材とした。

「シアターフレーム」とは、筆者らが考案した造語で、人形劇の舞台となるものである。市販されている人形舞台の製品をもとに教材として制作しやすいよう設計した。シアターフレームは保育現場で臨機応変に活用できることを踏まえ、出来上がりのサイズが80cm程度のものでした。舞台の登場人物としては、保育者本人からパペットやペープサートの人形、あるいは幼児まで設定可能で、さまざまな保育展開の可能性を持つことができると考えられる。

#### 【授業計画】

##### 「幼児の造形表現Ⅰ」

- 6月1日 シアターフレームの説明, アイデアスケッチ
- 6月8日 シアターフレーム制作①
- 6月15日 シアターフレーム制作②
- 6月24日 シアターフレーム発表と振り返りシートの記入

##### 「保育実習実践研究Ⅲ」

- 5月18日 シアターフレームを用いた模擬保育についての概要説明
- 5月25日 グループで模擬保育のテーマを考える
- 6月1日 グループで模擬保育テーマに沿った活動内容を考える
- 7月20日 シアターフレームを用いた模擬保育発表①
- 7月27日 シアターフレームを用いた模擬保育発表②
- 9月28日 シアターフレームの取り組みに関するアンケートの記入



写真1 ダンボール切断の様子



写真2 絵の具による彩色の様子

## 2. 幼児の造形表現 I での授業内容

### 1) ねらい

コラボ授業における幼児の造形表現 I でのねらいは以下の通りである。

- ①シアターフレームの制作に関し、発想の手助けとなる資料を収集し、必要な材料や道具について慎重に検討し、主体的に取り組む。
- ②グループごとに定められたテーマに沿って自らのイメージをふくらませ、シアターフレームとしての機能を考慮したデザインを構想する。
- ③ダンボールの扱いに慣れ、設計図通り正確に、丈夫なシアターフレームを組み立てる。
- ④材料や道具を工夫し、子どもにとって魅力的なシアターフレームを完成させる。
- ⑤作品の鑑賞を行い、自らの造形に関する課題を再確認し、他の作品から良い点・見習いたい点を学ぶ。

### 2) 内容

まず、6月1日の初回までに、「保育実習実践演習Ⅲ」にてシアターフレームの概要説明がなされており、各グループごとにテーマを決めていた。各自保育所保育実習にて活用できることを前提としてシアターフレームのアイデアスケッチを行った。テーマは森、舞台、家、カメラ、テレビ等となった。

シアターフレームという特徴から、子どものいる空間を切り取り、注目されるようなデザインでなくてはならない。かつ、フレームでもあるため、それ自体が主役になることなく、また様々な場面で応用できるようなデザインが望ましいこととした。

学生に主体的に取り組んでもらうため、この時点で、テーマごとに発想を促す資料の収集と、制作に必要な材料・道具の確認を行った。フレームの材料として、片面白ダンボール(90cm×90cm)を使用した。

制作①では、片面白ダンボールを設計図通りにシアターフレームの形に切断し組み立てる作業を行った。設計図は授業担当者が作成したものである。ただし、フレーム正面の舞台部



写真3 舞台をテーマにしたもの



写真4 公園をテーマにしたもの

分は各自のテーマに合わせて自由にデザインし、好きな形に切り抜いてよいこととした。

まず、縮小されている設計図どおりにダンボールに下描きを行った。図面を描くことが苦手な学生は何度も描き直し苦勞をしている様子であった。また、切断に関してもダンボールは厚みがあるため切断しにくく、直線がゆがんでしまうなどの問題が起きた学生も多々見られた。

制作②では、切断したダンボールに着色、あるいは装飾等を施し、イメージに沿ったシアターフレームを組み立て完成させた。グループごとにイメージは統一されていたが、その範囲内でデザインを決定し、各自必要な道具や材料を自由を使用することとした。ただし保育現場における汎用を目的としているため、あまり限定的な装飾は好ましくないとのアドバイスをを行った。装飾や仕上げに用いる道具・材料は自由とした。ひだの寄せ方を研究してきた実際の舞台のようなカーテンを再現した学生や、アマゾン風の森を資料を参考にして描画した学生等、それぞれ工夫を凝らしており、積極的に制作している様子が見られた。

6月24日には、作品の発表と鑑賞を行い、振り返りシートを用いて自己評価を行うことと合わせて作品の鑑賞を行った。一人ひとりの作品を、合わせて使用するパペットやペープサートとともに紹介し、工夫した点やうまくいかなかった点、また、どのような保育場面で使用できるか、等の保育展開案について発表を行った。

### 3) 課題

振り返りシートでは、「1. 発想と構想について」、「2. 材料・技能について」の達成度を5段階（3が標準、5が最良）で自己評価を行った。振り返る項目はそれぞれ3つずつあり、具体的に振り返ることができるように問いかけを工夫した。結果は図1のとおりである。「3. 発表・鑑賞について」では自分の作品と、他の学生の作品について記述にて反省と感想を書き、「4. この課題を通して実習に備えるために考えたこと気づいたこと」では、実習に向けて造形に関する自己課題や抱負等について自由に記述した。振り返りシートの詳細は資料1を参照されたい。

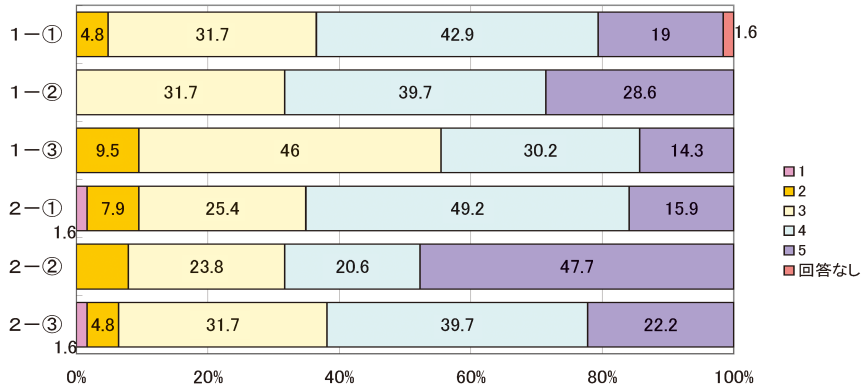


図1 振り返りシートによる自己評価

「1. 発想・構想について」では、図1の1-①、1-②の結果から、学生はデザインに関してそれほど調査は行ってはいないながらも、70%近くがイメージに合ったシアターフレームを作ることができたと考えていることがわかった。その反面、1-③の結果から、「視覚的な効果」に満足できるフレームが制作できたと評価する学生は、半数に満たなかった。しかし、この振り返りシートは、「保育実習実践研究Ⅲ」における実践発表以前に行ったものであるため、人形とフレームの関係における評価まではできていなかったように思う。発想や表現が苦手な学生はシンプルな作品になったが、シアターフレームという性質から、丁寧に作りさえすればその役割は十分達成可能となる。一見地味な印象を与えるシアターフレームであっても、人形との関係においては、むしろ効果的に活用できることもあるだろう。

「2. 材料・技能について」では、2-①の結果のとおり、材料の工夫に関する項目において65.1%の学生が4点と5点で評価していたため、ある程度は材料や表現を工夫したことが読み取れる。シアターフレームの組み立てに関しては、数名、設計図とおりにできなかった学生もいたが、大幅に作図を誤り失敗したという学生はいなかったため、振り返りシートでも2-②は高得点となった。47.7%の学生が5点の自己評価をしており、4点、3点の学生とあわせると92.1%になることから、ほぼ設計図とおりに組み立てることができたと考えられる。しかし、自由記述からは「カッターで切ることが難しかった。上手く切れなかったので、ごまかして切ったところもある。」「フレームを組み立てる前のダンボールにカッターで切る線を描きこむのが、何度も失敗し上手くいかなかった。」「組み立てるのに思ったよりもダンボールが硬く、時間がかかった。また、フレームの上の部分は、さし込んだりする所がなかったのでどうすれば良いか分からなかった。」等の意見が見られたため、カッターナイフの扱い方の指導を徹底し、かつ設計図を改良する必要がある、より制作しやすい教材を目指したい。

また、振り返りシート「3. 発表・鑑賞について」での自分の作品に関する自由記述では、「実際の保育展開の場面をもっと想像して、子どもと一緒にどう楽しめるかを考えて作ることが

大切だと思った。視覚的にもっと材料を使って鮮やかにしたら良かったと思う。」「あまりフレームが派手すぎると、子どもがどこに注目すればいいのかよく分からなくなってしまったと思った。派手すぎず、でも子どもを引きつけられる工夫が必要だと思った。」「自分のためではなく、子どもたちのために、どう作れば注目してくれるか、など考えながら作ることが楽しかった。他の友達のアイデアもたくさん見ることができたので、良い参考になった。」のような意見も見られたため、「シアターフレーム」という機能を意識し、「観客の目を引くデザイン」や「繰り返し使用できるデザイン」を工夫してアイデアを練ることができていたことが伺える。

さらに、振り返りシートにおける他の学生の作品鑑賞に関する感想からも、他の作品をよく観察し、自己課題に気づくことができている様子が見られた。特に他の作品に関する材料や技法への意見が多く、制作だけではなく、鑑賞を行ったことから学生の学びが広がったと思われる。

その他「シアターフレーム制作を通して気づいたこと」に関する自由記述には以下のようなものがあった。

- ・もっといろんな種類のどうぶつパペットを持っていると便利かなと思った。もう少し作り直して、フレーム前面の天気や季節を変えられるようにしたい。
- ・前もって計画して、順番に準備していくことの大切さに気づいた。漠然と作るのではなく、目的を持って、仕上げていくことが必要だと思った。
- ・この課題を通して丈夫な物をつくることの大切さが学べた。設計段階で正確に作るべきだった。また、子どもたちからどういう風に見えるか考えて作ることの大切さも学んだ。

このような自由記述に見られた反省や意見の内容から、この課題をとおして学生が少なくとも授業のねらいに気づくことができたという点は、大いに評価できるのではないかと。特に、制作計画の立て方に対する反省が多く、保育所保育実習を控えた学生が自らそれを実感できた点は大きな成果であろう。

また、シアターフレームは保育実習にて活用することを前提としていたのだが、学生の意見からは大きすぎて持ち運びに困る、というような意見もあった。そのため、シアターフレームを使用しないときは、折りたたむことができる等、設計図の改良を試みたい。

### 3. 保育実習実践研究Ⅲでの授業内容

#### 1) ねらい

コラボ授業における「保育所保育実践研究Ⅲ」のねらいは以下の通りである。

- ①シアターフレームの特性を考えることで、子どもの興味や関心を引き出し、子どもを引きつける「保育の導入」の重要性を理解する。
- ②シアターフレームの制作を通して、保育教材を準備することの重要性について学ぶ。
- ③シアターフレームを用いた模擬授業を行うために、保育の組み立てや流れについて考え、



写真5 ペープサートを用いての発表の様子



写真6 靴下パペットを用いての発表の様子

指導案を作成する力を育てる。

- ④模擬授業に向けての練習を通して、言葉がけや活動の展開について考え、保育実践力の向上を目指す。
- ⑤他のグループの模擬授業を見ることでシアターフレームの多様な活用方法に触れ、シアターフレームの可能性について学ぶと共に、活動の流れや保育者の援助について学ぶ。

## 2) 内容

5月18日（1回目）には、「シアターフレームの制作とその実践」の取り組みとして、「幼児の造形表現Ⅰ」及び「保育実習実践研究Ⅲ」におけるコラボ授業の概要について説明を行った。1回目の授業では、取り組みへの導入として、次の3点をねらいとした。

- ①シアターフレームについて知り、自分なりのイメージをもつ。
- ②コラボ授業の目的を知り、造形表現の授業を通して得られた専門知識や技術を用いて保育教材を制作し、手作りの保育教材を用いた保育実践（案）を考えることの良さに気づく。
- ③授業の流れについて知ることで、限られた準備期間の中でグループの意見をまとめ、1つの活動を作り上げる過程に見通しをもつ。

学生は、1つの課題に対して複数の教員が携わる「コラボ授業」自体に期待感を抱いており、手作りの「シアターフレーム」を用いた模擬授業への取り組みに関心を示していた。その反面、模擬授業までの準備期間が短い、現在抱えている課題が多い、グループの人数が多い等の点に不安を感じている学生の姿もあった。また、実物のシアターフレームを提示しておらず、シアターフレームのイメージがひろがりにくい状況が生じたことは反省すべき点である。

5月25日（2回目）には、受講者58人を9つのグループに分けて、6～7人のグループを構成した。グループメンバーは、保育所保育実習を見通して実習園が同じ学生を優先的に同グループとなるように構成した。その後、グループに別れて模擬授業のテーマ（シアターフレーム）について話し合いを行った。話し合いを行うにあたり、保育場面におけるシアターフレーム活用の意義について実践事例を交えながら解説を行った。授業担当者が考えるシア



ターフレームに期待される教育的効果は次の4点である。

- ①保育者に対する興味付け（子どもとの距離を縮める）
- ②保育者の言葉に対して意識を向ける（話しを聞こうとする姿勢）
- ③活動に対する期待感（活動への動機づけ）
- ④活動に対するイメージの共有化と広がり（活動の理解）

また、学生は「乳児保育Ⅱ」の授業において「靴下パペット」を制作している。シアターフレームを用いた活動に「靴下パペット」をはじめ、過去に手作りした教材を活用することを提案し、模擬授業のテーマと共に検討することとした。話し合いでは、盛んに意見が出されテーマが決定した。テーマが決らなかったグループが2つあったが、次回の授業までに授業担当者と相談しながらテーマをまとめることとした。

6月1日（3回目）では、模擬授業のテーマに沿った活動内容を具体的に考え、活動の流れ、ストーリー、保育者の言葉かけ、活動に用いる用具等について話し合った内容を基に指導案の作成を行った。授業担当者は活動の進捗状況に応じて話し合いに参加し、学生のイメージを具現化するように指導及び助言を行った。学生は、3回の授業を通じて共有化されたテーマを基に、「幼児の造形表現Ⅰ」の授業においてシアターフレームの制作を行った。

7月20日・27日のシアターフレームを用いた模擬授業発表①②では、9つのグループを2回に分けて、1グループ約15分の発表を行った。模擬授業では事前に提出された指導案を全員に配布し、発表者以外の学生は指導案に「気付き」や「アドバイス」をメモしながら、子ども役として模擬授業に参加した。模擬授業は保育の場面（「誕生会」、「主たる活動」、「午睡前」「帰りの集まり」）を想定し、保育の導入部分から活動のまとめまで、実際に子どもへ語りかける言葉を意識して模擬授業を行った。発表終了後には、各学生が模擬授業に対する評価を行い、配布された指導案の評価欄に記述した。課題として、模擬授業発表者は、指導案に記入された助言を基に、指導案を修正し、最終版の指導案を作成して提出した（8月3日）。

9月28日シアターフレームの取り組みに関するアンケートの記入

「保育実習実践研究Ⅲ」におけるシアターフレームの取り組みに関する評価の一環として、保育所保育実習終了後にアンケートを実施した。

### 3) 課題

シアターフレームの取り組みに関するアンケートによる授業評価

アンケートは、①模擬授業の指導案、②模擬授業、③保育所保育実習及び保育現場におけるシアターフレームの活用、の3つの観点から構成した。質問1では模擬授業の指導案を作成した感想、質問2では指導案を作成する際に困ったこと・難しかったことについて自由記述を行った。質問3ではシアターフレームを使った模擬授業の実施、質問4では模擬授業（発表者）としての学び、質問5では模擬授業（鑑賞者）としての学びについて5段階評価を行い、それぞれ評価の理由について自由記述を行った。質問6では保育所保育実習におけるシ

アターフレームの活用状況について、質問7では今後の活用について段階的な評価及び自由記述を行った。授業アンケートの内容は資料2を参照されたい。

質問1. 模擬授業の指導案を作成した感想の自由記述内容には、以下のようなものがあった。

- ①グループで1枚の指導案を作成するため、様々なアイデアが活用できてよかった。
- ②模擬授業案の書き方を学ぶことで実習中の指導案の書き方の不安が少し解消した。
- ③1つ1つの動きを細かくイメージしながら作成していくことが大変だったけれど、細かく書くことによって自分たちでシュミレーションできたので良かった。
- ④他の人たちが作成した指導案を基に保育園で劇をしたので参考になった。

質問2. 指導案を作成する際に困ったこと・難しかったことの自由記述には、以下のようなものがあった。

- ①全員の空きコマが合わず、みんなで練習したり、話し合いをする時間がない。
- ②7人で1つの指導案をつくるため、意見をまとめたり反映させることが難しかった。
- ③シアターフレームの活用方法や具体的な活動についてイメージがひろがらなかった。
- ④保育士の援助・配慮の書き方が通常の指導案と違い、迷った。

このように、学生は、グループ活動を行うための時間の確保や互いの意見をまとめることへの難しさを感じる一方で、協力して取り組むことで得られる学びの大切さや達成感も感じていた。今後の課題としては、シアターフレームを用いた活動例や実際のシアターフレームを提示することで、学生のイメージを深められるよう工夫したい。また、今回は模擬授業の指導案作成において、保育所保育実習用の様式を使用したために混乱した学生もいたことから、シアターフレームを用いた活動にあった指導案の様式を検討したい。

質問3. シアターフレームを使った模擬授業の実施について学生の満足度を5段階で評価した結果は、図2に示した通りである。模擬授業の取り組みについて、「aとても良かった」及び「bよかった」と回答した学生（76%）の自由記述には、以下のようなものがあった。

- ①シアターフレームを用いることで子どもが興味を持って話を聞いてくれると分かった。
- ②発表までには準備や練習を念入りにすることが大切だということを知ることができた。
- ③様々なシアターフレームの活用方法に気付くことができた。
- ④1つの目標に向かって全員で協力しながら進めて行けたのが良かった。

表1

質問3	
a とても良かった	4
b よかった	38
c どちらでもない	10
d あまり思わない	3
e 全く思わない	0

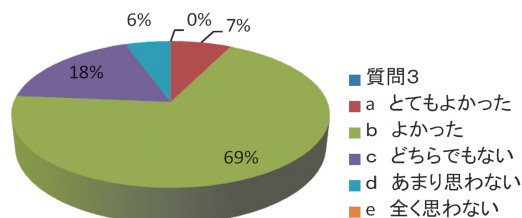


図2 模擬授業実施についての満足度

また、「c わからない」と回答した学生（18%）は、保育現場における活用方法や1人で取り組むことに難しさを感じている様である。また、「あまり思わない」と回答している学生（7%）は、メンバーとの練習時間の確保が難しかったことを理由としてあげている。

質問4. 模擬授業（発表者）としての学びについて学生の満足度を5段階で評価した結果は図3に示した通りである。発表を通して学んだことについて、「a たくさんある」及び「b ある」と回答した学生は93%で高い値を示しており、学生の満足度が高かったことがわかる。また「c わからない」と回答した学生（7%）も自由記述の中では学びについて触れていたことから、全ての学生に学びが得られたことは評価できる点である。自由記述については、以下のようなものがあった。

- ①発表する場を経験して見せ方や話し方など勉強することがたくさんできた。
- ②シアターフレームを使うことによって雰囲気作りもできたので、環境作りも重要な保育の一部だと改めて考えられた。
- ③年齢に合わせて使うことができるということを学んだ。
- ④子どもを引きつける工夫、言葉のかけ方、フレームを活用した展開の仕方、導入の仕方などについて学んだ。

表2

質問4	
a たくさんある	7
b ある	44
c わからない	4
d あまりない	0
e 全くない	0

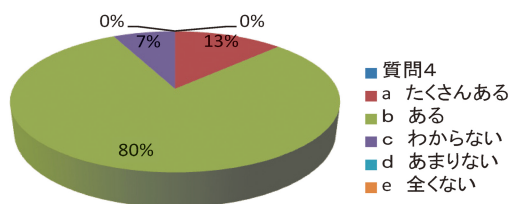


図3 発表者としての学びについての満足度

質問5. 模擬授業（鑑賞者）としての学びについて学生の満足度を5段階で評価した結果は、図4に示した通りである。発表を見て学んだことについては「a たくさんある」及び「b ある」と回答した学生は98%で高い値を示した。自由記述の内容としては、「シアターフレームの活用方法、表現方法（声のトーンや大きさ、子どもに見える立ち位置・音楽・効果音）、子どもを引きつけ、楽しませるための方法や工夫、指導案の書き方や準備物の大切さ」等、多くの事を学んでいた。また、他者の発表を見ることで自らを振り返り、「もっとこうすればよかつ

表3

質問5	
a たくさんある	9
b ある	45
c わからない	1
d あまりない	0
e 全くない	0

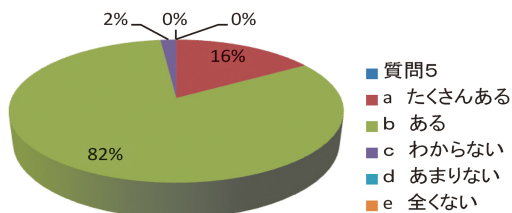


図4 鑑賞者としての学びについての満足度

た),「自分だったらこうしたい」といった思いも芽生え,さらなる活動への意欲が感じられた。

質問6. 保育所保育実習におけるシアターフレームの活用状況については, 図5に示したように有効回答55人のうち9人(16%)の学生が実施していた。保育所保育実習で実施した回数については, 表5に示した通り9人のうち, 1回実施した学生が7人, 2回実施した学生が1人, 2回以上4回未満実施した学生が1人であった。また, 質問6(1)②活用した保育場面については,「帰りの集まり, 誕生会, お別れ会の出し物, 絵本や紙芝居を読む時」等があげられており, 実習最終日に催される子ども達とのお別れ会での出し物として活用した学生が多かった。1名の学生については日常的な保育の中で繰り返し活用しており, シアターフレームを有効に活用していた。また, 質問6(1)③子どもの反応については,「興味津々だった, 注目の的だった, 静かに話を聞いてくれた, 何がはじまるの?と楽しそうにしていた, 普通に話をするよりも集中して話を聞いてくれた, フレームの中をじっとみていた, 喜びすぎて取り合いになった」等, シアターフレームに対する子どもの関心の高さがうかがえると同時に, シアターフレームが持つ教育的効果についても手応えを得ることができた。さらに, 質問6④使ってみた感想については,「先生からスゴイと言ってもらえた, 喜んでくれて良かった, フレームがあった方が集中できると思った, 子どもの興味を引きつける上でとても役にたった」等との回答があり, シアターフレームが保育所保育実習における学生の一

表4

質問6	
a した	9
b しなかった	46

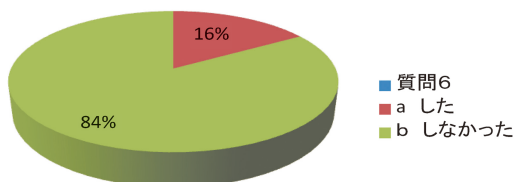


図5 保育所保育実習における活用状況

表5

質問6(1)	
a 1回	7
b 2回	1
c 3回以上4回未満	1
d 5回以上7回未満	0
e 8回以上	0

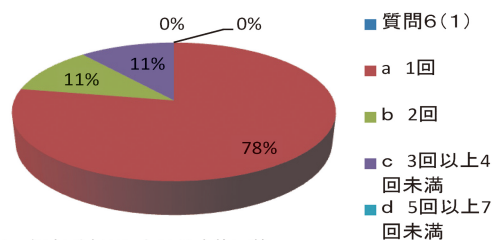


図6 保育所実習における実施回数

表6

質問6(2)	
a チャンスがなかった	30
b 使い方がわからない	7
c 保育士からの指導	1
d その他	7

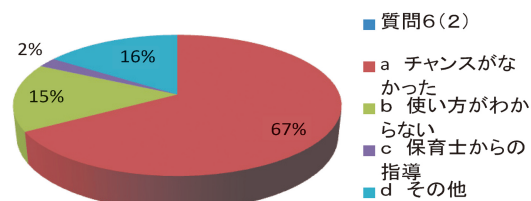


図7 活用できなかった理由

助となったと言える。

質問6(2). 保育所保育実習で活用できなかった理由としては表6に示した通り、67%の学生が実施するチャンスがなかったと回答しており、保育園及び担当保育士のスケジュール等の都合により機会に恵まれなかったことがわかった。しかし、学生の中には担当保育士に活動を行いたいと申し出たり、シアターフレームを見せたりすることなく「チャンスがなかった」と回答している学生もいることから、実施の機会を待つのではなく自らが担当保育士にはたらきかけて、「取り組みを行いたい」という意志を伝え、意欲を見せることの重要性について指導を行う必要がある。また、「dその他」と回答した学生(16%)の理由として、持ち運びができなかったことをあげていることから、シアターフレームの運搬や保管などの取扱い方法についても検討していきたい。

質問7. 保育現場におけるシアターフレームの今後の活用については、図8に示した通り、「a積極的にしたい」、「b機会があればしたい」と回答した学生が89%と高く、保育現場におけるシアターフレームを活用することについて評価が得られた。自由記述の内容としては「子どもの反応を見たい、子どもが興味を持ち喜んでくれると思う、頑張ったので使いたい、様々な場面で活用できると思う、誕生会などで使いたい」と子どもの反応や活用する場面を具体的にイメージしている学生もいる。しかし、「cわからない」「dあまり思わない」と消極的な学生(11%)もいる。自由記述の内容を読み解くと、シアターフレームの活用方法について具体化できていない点があげられている。

表7

質問7	
a 積極的にしたい	8
b 機会があればしたい	40
c わからない	4
d あまり思わない	2
e 全く思わない	0

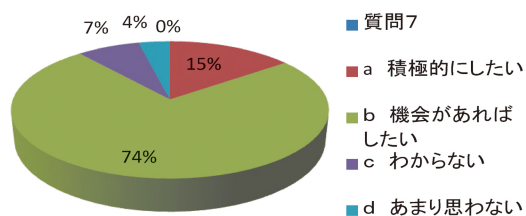


図8 今後の活用について

#### 4. コラボ授業の検証と課題

コラボ授業の結果を検証した結果、以下のことが明らかになった。

##### 1) 評価できる点

(1) 保育所保育実習の準備の一環としてこのコラボ授業を位置づけ、①実習に活用できる教材づくり、②教材を活用した保育計画の立案、③保育計画を基にした模擬保育の実施を一連の取り組みとして展開することができた。さらに、実際に保育所保育実習において準備した教材を活用することにより、教材の効果や準備の必要性について実践現場での経験を通して学ぶことができた。「幼児の造形表現Ⅰ」から「保育実習実践研究Ⅲ」へとつながりを持たせた課題を扱うことによって、お互いの科目で実施できない部分を補い合い完成度の高い

教材開発を実現することができたことは、今回のコラボ授業にて最も評価できる点であろう。

シアターフレームという教材の特徴の1つとして、「幼児の造形表現Ⅰ」で素晴らしいものを完成させたとしても、「保育実践研究Ⅲ」にて学ぶ「発表」がうまくできないと、その良さを生かすことができない点が挙げられる。また、逆にフレームの制作では自信の持てるものができなかったとしても、パペットやペープサートを効果的に使い発表を工夫すれば十分魅力のあるシアターとなるため、コラボ授業で取り扱う意義は大きい。

実際に保育所保育実習にてシアターフレームを使用できた学生が少なかった点は残念であったが、そのような学生であっても、専門性を高めた教材の魅力には十分に気が付いていることはアンケートからも明らかである。教材を生かすことができるよう、来年度はシアターフレームの具体的な使用場面の提案を行う等、十分な活用へとつなげたい。

(2) 教員間にて、保育実践現場で求められる専門性について共通理解を踏ると共に、保育者を志す学生に必要な基礎知識・基礎技能・及び実践力に関する課題を共有することができた。1つの課題に対して、2名の教員が関わっているため、問題や情報を共有することにより、実習を控えた学生の保育実践力の育成に協力して対処することが可能となり、さらに1つの問題に対しても異なった視点から意見することができた。また、教員同士が、それぞれの情報を共有することで、これまでは気付くことができなかった学生に不足している知識や技能を把握でき、今後の授業改善に生かすことができると考える。

## 2) 改善が必要な点

(1) コラボ授業では、先に実習園別に学生のグループ分けをし、フレームのテーマを設定した。しかし、「保育実践研究Ⅲ」授業後のアンケートから自分が活用しやすいテーマのシアターフレームを制作したかったとの意見もあがったため、シアターフレームのデザインは各自の自由度を持たせたほうがよいかもしれない。

(2) コラボ授業の計画として、今回は「幼児の造形表現Ⅰ」→「保育実践研究Ⅲ」という順番で行った。しかし、実習園における教材活用のしやすさを考えるならば、先に「実践研究Ⅲ」にて模擬保育の経験をしてから、各自が保育展開をイメージできるようなシアターフレームを制作する、という流れのほうが学生らも保育所保育実習にて応用しやすいのではないか。

## おわりに

保育士養成校にて求められる保育実践力の育成を目指し企画したコラボ授業の取り組みを検証した。

今回は初めての試みだったため、課題や反省点も多い。しかし、一つの課題に二人の教員が関わり時間をかけて取り組んだこのコラボ授業を通して、十分ではないにしろ我々筆者らの思いや意図を学生に伝えることができたと思う。また、フレームの中の世界に子どもの興

味や関心を引きつけ、保育士の言葉への集中を促す「シアターフレーム」というオリジナル教材を開発できた点については研究の成果と言えるであろう。保育所保育実習を通して担当保育士の言葉として「大切にしてこれからは積極的に上下功夫」という言葉を頂いた学生もいた。コラボ授業を今回限りのものとせず、改善を加えながら継続し、保育士を目指す大学生の保育実践力の育成への一助としてゆきたい。

資料1 振り返りシート

2012/06/21 初回の進捗表様！

シアター・フレーム振り返りシート

今回の課題制作はいかがでしたか。発想、材料、技術などについて工夫ができたでしょうか。また、改善すべき点はどのような点でしょうか。以下の質問をヒントに振り返りましょう。  
( ) にながに5段階評価で記入してください。

1. 発想・構想について

① 自分なりにテーマ・シナリオをもとに調査などを行いアイデアをまとめたかどうか。( )  
→雑誌や絵本などをそのまま真似たものではないだろうか。もし参考にしようとしたものがあれば、以下に参考資料として記載しておきましょう。

② テーマ・シナリオとのイメージは合っているだろうか。( )  
→フレームが、観客にとってシアターのイメージを持つ助けとなっているだろうか。

③ 視覚的に効果的に仕上がっただろうか。( )  
→シアターの観客が見たときに、人形との関係において分かりやすいフレームにできあがっただろうか。

2. 材料・技術について

① テーマ・シナリオに合った材料の工夫を行ったかどうか。( )

② 設計図に正確にフレームを組み立てることができたかどうか。( )  
→怪我をしたり、道具の誤った使用はなかっただろうか。

③ 何度も繰り返し使用可能となるように丈夫なものができたかどうか。( )

3. 発表・鑑賞について

① 自分のシアター・フレームの工夫した点、うまくいった点を書きましょう。

② 反対にうまくいかなかった点、失敗した点はどこでしょうか。

③ 他の作品で良いと思うもの、あるいは、今度自分も取り入れてみたいと思う工夫を凝らしているものなどについて書きましょう。

4. この課題を通して、実習に備えるために考えたこと、気づいたことなどを記入してください。

学務番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

## 資料2 シアターフレーム活用についてのアンケート (表)

シアターフレーム活用についてのアンケート													
<p style="text-align: center;">学生番号 _____ 氏名 _____</p> <p>※このアンケートは授業評価には一切関係ありません。今後、保育士養成校として更なる実習指導の充実と学生の専門性の向上のために役立てます。</p>	<p>質問3. シアターフレームを使った模擬授業についてお聞きします。シアターフレームを使った模擬授業を実施してよかったと思いますが、当てはまる項目を1つ選び、その理由を教えてください。</p> <p style="text-align: center;">a. とてもよかった      b. やかった      c. どちらでもない d. あまりよかったと思わない      e. 全くよかったと思わない</p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>												
<p>質問1. シアターフレームを使った<b>模擬授業の指導案を作成した感想</b>を教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>							<p>質問4. シアターフレームを使った模擬授業の発表を通して学んだことはありますか。当てはまる項目を1つ選び、その理由を教えてください。</p> <p style="text-align: center;">a. たくさんある      b. ある      c. わからない d. あまりない      e. 全くない</p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>						
<p>質問2. シアターフレームを使った<b>模擬授業の指導案を作成する際</b>に、困った事や確しかった事などがあれば、教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>							<p>(理由)</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>						

## 資料3 シアターフレーム活用についてのアンケート (裏)

<p>質問5. シアターフレームを使った模擬授業の発表をみて学んだことはありますか。当てはまる項目を1つ選び、その理由を教えてください。</p> <p style="text-align: center;">a. たくさんある      b. ある      c. わからない d. あまりない      e. 全くない</p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>							<p>③子ども達の反応について教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>												
<p>質問6. シアターフレームを保育所保育実習で活用しましたか?</p> <p style="text-align: center;">a. した      b. なかった</p> <p>(1)a.したと回答した方にお聞きします。</p> <p>①何回くらい活用しましたが、1つに○をしてください。</p> <p style="text-align: center;">a. 1回      b. 2回      c. 3回以上4回未満 d. 5回以上7回未満      e. 8回以上</p> <p>②どのような場面で使いましたか?具体的に教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>							<p>④保育現場でシアターフレームを使った感想を教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table> <p>②b.しなかったと回答した方にお聞きします。</p> <p>①活用しなかったのはなぜですか?</p> <p style="text-align: center;">a. 使うチャンスがなかった      b. 使い方がよく分からなかった c. 保育園や担当の保育士から使わないように言われた d. その他 (具体的に教えてください)</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>												
<p>質問7. 今後、シアターフレームを保育で活用したいと思いませんか。当てはまる項目を1つ選び、その理由を教えてください。</p> <p style="text-align: center;">a. 積極的にしたい      b. 機会があればしたい      c. わからない d. あまり思わない      e. 全く思わない</p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>							<p>アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。</p>												